

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">映像文化 I</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部日文2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">江村 公</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">映画学入門</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>映画誕生から百年を迎えた現在、映像は最も日常的かつ効果的な表現媒体となっている。本講義は、この百年の歴史を踏まえた上で、映画におけるさまざまな表現技法や文法等を、作品分析や制作過程の認識を通して学び、映画に関する基本的理解を深め、全ての映像表現に対する美的価値判断能力を養うことを目的とする。</p>		
<p>評価方法</p> <p>学期末レポートの成績 + 平常点（講義中に提出してもらった感想文）</p>		
<p>テキスト</p> <p>使用しません。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>講義内で適宜指示します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに——映像ってなんだろう？ 2. 映画のはじまり 3. 映画産業の成立 4. ハリウッド黄金期 I 5. ハリウッド黄金期 II 6. 映画芸術の進化 7. フランス映画の黄金時代 8. 戦争と映画 9. フランス映画の安定期 10. 映画の革命 ——ヌーヴェル・バーグ 11. アラン・レネ 12. ゴダール 13. ドリュフォー 14. テレビ時代のメディア論 15. まとめ 		